

令和4年度 自己評価結果公表シート

蛸ノ浦保育園

1、 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取 組 状 況
Ⅲ 保育者としての 資質や能力・良識・適 性	・保育士だけでなく全職員がスキルアップに努めている。 ・個々の子どもについての情報共有、守秘義務を徹底している。
Ⅴ 地域の自然や社 会とのかかわり	・年齢に応じてのお散歩へは行けたが、やはりコロナや熊の出没で回数は減った。まだ外部の人はよべていない。
Ⅵ 保育の専門性に 関する研修・研究への 意欲・態度	・今年もクラスに気になる子がいて、支援の仕方や保護者への伝え方、専門機関へのつなげ方など継続して勉強している。就学支援委員会、保健師、心理療法士など定期的に園訪問があり、以前より繋がりが密になっている。 ・コロナのため参集は1回のみ。オンライン研修に参加。
Ⅷ 地域における子 育て支援	・地元の未就園児は皆無で、以前は転勤族の親子が時々遊びに来ていたが、コロナのため利用は殆どなかった。

2、 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナとの共生も丸3年が経過し、保育園児のマスク着用もだいぶ定着しつつある。手洗い、うがい、消毒などで他の感染症もおさえられ、流行性の疾病はなかった。また、大きな事故や怪我もなく保育園への登園渋り、保護者、家族からの苦情もなかった。親や、祖父母、地域の方が参加の行事は少しずつ人数を増やしたり以前の持ち方に近い内容で開催することができたと思う。普段の生活面や保育についても全職員で話し合い、共通理解のもと進めている。

3. これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
Ⅱ 保育の在り方・ 幼児への対応	・4年度は3歳以上児クラスに支援を要する子が数名いて、個々の関わりについて職員全員が共通理解をして、成長の手助けができるように何度もケース会議を行った。行事への取り組みや参加の仕方も試行錯誤しながら、子どもが楽しく参加できるよう今後も努めたい。また、周囲の子ども達が理解できるような言葉がけ等のサポートが必要と感じている。
Ⅳ 保護者への対応・ 守秘義務	・一番大切にしていることは、園と家庭（保護者）との信頼関係。些細なことでも顔をみて口頭で伝える。会えない時は電話で伝えるなど。また、気になる子の保護者とは日々の子どもの様子を伝えたり行事の前後などに話をする機会を設けることができた。今後も継続していきたい。
Ⅵ 保育の専門性に関する 研修・研究への意欲・ 態度	・特にここ数年は、気になる子の割合が多いと感じる。園内研修はもとより、オンライン研修も取り込み、職員が交替で視聴、勉強した。一人ひとりケースが違うが、職員が同じ関わりをもつよう話し合った。
Ⅳ 保育の在り方・ 3歳未満児への対応	・年々人数が減り、生まれる子も少ない。どうしても異年齢の混合クラスにせざるを得ない。出来るだけ月齢の低い乳児は別クラスにするが、1歳の誕生日を過ぎたら、1，2歳児クラスにあがることもあると保護者に了解を得ている。

《第三者委員会》

令和5年3月10日（金）の会議において第三者委員に開示しました